

丸の内オフィス街を作った三菱の大番頭
 莊田平五郎



白杵町大字二王座塩田に生まれる

1847年、白杵藩士で代々儒学者の莊田允命（のぶよし）の長男として生まれ、幼少より父から厳しく指導を受け、抜群の成績で、白杵藩校「学古館」においても秀才として聞こえが高かったそうです。

江戸（東京）にて修学

1867年、白杵藩藩命により江戸に修学を命ぜられ、緒方洪庵の師、坪井芳洲の弟である青地信敬の青地塾に入門。図らずもわずか八か月で帰国することになった平五郎ですが、帰国前、慶應義塾にて将来一生の子弟関係となる福澤諭吉に出会っています。

慶應義塾に入学

1870年、慶應義塾に入塾すると、早々に教師となり、塾の規則制定を起草し、授業に「数学」、「帳合の法」（簿記）や商用算を取り入れて夜間学校を併設するなど当時としては画期的なアイデアの持ち主でした。

三菱商会に入社

1875年、福澤諭吉の推薦により入社。三菱財閥創業者の岩崎彌太郎、彌之助、久彌の三代に仕え、複式簿記を導入し、日本初の損害保険会社（東京海上保険会社）や、生命保険会社（明治生命）の設立のほか、東京丸の内ビル街の建設や、長崎造船所支配人として、工場内に付属病院を建設、企業の福利厚生先駆けとなった「庸使人扶助法」「職工救護法」の制定。技術者養成のための工業予備学校設立。国産大型船舶建造等、日本の重工業発展の基礎を築き、労働者の福利厚生に関する事業創設など日本経済及び近代社会に大きな影響を与えました。慶應時代から教育者として人材の重要性を理解していた平五郎は、学問を実業に役立てるという福澤諭吉の教えを果たしたといえるでしょう。

故郷白杵への愛郷心

旧白杵藩が設立した第百十九銀行の危機を救い、のちの三菱銀行へと発展させたことは白杵にとって大きな誇りと言えます。また、白杵図書館（現こども図書館）の寄贈（当時としてはめずらしい婦人専用の閲覧室や児童室を設け、2階には「五常の徳」から名付けた「仁間・義間・礼間・智間・信間」の5室を設けています）や、実家の塩田での養老施設「優游园」（旧白杵幼稚園）の運営の他、大分県出身学生の県人寮茶竹舎（荘田寮の前身）の建設、運営など様々な活動を行い、度々故郷へ救いの手を差し伸べています。

（参考資料）宿利重一著「莊田平五郎他」

莊田平五郎 没後100年プロジェクト

白杵市教育委員会所蔵

4月30日(土)
 11:00スタート
 ~5月31日(火)

所縁の場所をめぐる クイズラリー

莊田平五郎所縁の場所をめぐり、クイズにチャレンジ。全問正解者の中から抽選で100名の方に豪華景品を進呈します。「白杵お買物券」または「うすきの地ものセット」

クイズラリーコース

スタート サーラ・デ・うすき→

- ①白杵図書館→②白杵市歴史資料館→
- ③旧白杵幼稚園→④旧真光寺→⑤カニ醤油→

ゴール サーラ・デ・うすき

「うすきちゃんねる」 莊田平五郎特集

生配信 4月29日(金・祝) 20:00~

おたのしみに!

テイクアウト弁当販売
 4月30日(土) 11:00~
 場所: 白杵ケーブルネット前

なくなり次第
 終了

コンサート

100年バトン ~今を音に載せ未来へ~

雨天中止

場所 カニ醤油駐車場 日時 4月30日(土) 11:00~14:00

出演者	11:00~11:35 ステレオ少年	11:45~12:20 田口 千里	12:30~13:05 storyteller	13:15~13:50 中村 慎吾

白杵市歴史資料館 春季企画展示 「莊田平五郎の歩んだ明治日本」

令和4年
 4月29日(金・祝)
 ~7月18日(月・祝)

開館時間 9:30~17:30(入館は17:00まで)

住所 白杵市大字市浜808番1

休館日 火曜日(祝日のときはその翌日) および 12/29~1/3

入館料 一般330円 学生160円
 団体料金(20名以上) 一般280円 学生140円
 通年手形(購入から1年間、入館回数無制限)
 一般660円 学生330円

TEL 0972-62-2882

問合せ先 白杵市中央通り商店街振興組合事務所 TEL: 0972-63-8525
 平日 10:00~16:00 土・日・祝はお休み

※新型コロナウイルス感染症対策のため、イベントを中止する場合があります。